



図書館だより



佐渡市立図書館・図書室の利用方法が変わりますNo.3

佐渡市立図書館・図書室は、4月1日から名称および開館時間・休館日が変わりました。
金井図書館が中央図書館となり、その他の図書館・図書室と連携して、市内のすべての地域でさらに充実したサービスを提供していきます。みなさまのご利用をお待ちしております。

名称	所在地	電話番号	開館時間	休館日
佐渡市立中央図書館 (旧 佐渡市立金井図書館)	千種177番地1	63-2800	9:00~18:00 (土・日曜日は9:00~17:00)	月曜、祝日、 年末年始、 特別整理期間
佐渡市立両津図書館	梅津2314番地1	27-4181	9:00~17:00	
佐渡市立さわた図書館	河原田本町394番地	57-2711		
佐渡市立真野図書館	吉岡920番地1	55-2223		
佐渡市立小木図書館	小木町1946番地6	86-3841		
佐渡市立相川図書室	相川栄町1番地	74-2332	8:30~17:00	土・日曜、祝日、 年末年始、 特別整理期間
佐渡市立新穂図書室	新穂瓜生屋501番地	22-2075		
佐渡市立畑野図書室	畑野甲65番地1	66-3889		
佐渡市立羽茂図書室	羽茂本郷617番地	88-2230		
佐渡市立赤泊図書室	赤泊2458番地	87-3141		

休館日カレンダー(18年4・5月)■の日が休み

図書館(中央・両津・さわた・真野・小木)

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

図書室(相川・新穂・畑野・羽茂・赤泊)

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													



利用者端末機(館内蔵書検索パソコン)が図書館・図書室に設置されます。

このパソコンは、タッチパネル方式で操作手順に従って、「書名」「著者名」「キーワード」(内容)を入力すると市内の図書館・図書室のすべての蔵書を探ることができます。

また、希望の本が貸し出し中の場合、ご自分で予約をすることができます。

予約をする場合は、利用者カード登録時にパスワードをご記入ください。

今まで金井図書館・真野図書館・小木図書館・佐和田図書館の利用者カードをお持ちの方も新たに利用者登録申込書に記入してください。確認のために今までのカードをお持ちくださると手続きが早くなります。





佐渡金銀山 未来に残そう世界遺産

金銀山よもやまばなし(19)

戸地第一発電所跡

旧相川の市街地から、県道45号線を約13km北に戸地地区があります。

戸地川を2、3キロ上流に向かうと、左岸に当時の構造部の基礎が確認できます。佐渡鉱山は、自家用電気を必要とするも、鉱山付近には豊富な水量を得る川が無い。明治45年(1912)3月戸地水力発電所の工事許可を得て着工します。4年間にわたる工事では、大正2年(1913)変電所の上屋、社宅、坑夫長屋等の建造が完成します。



稼動していた頃の戸地第一発電所

平行して行われた、水源地における水路の開削、鉄管の敷設、地土石の切り取り、発電所および住宅地形の埋

立て、電柱の建立等が行われました。

工事の完成は大正4年(1915)

で、4か年にわたる大工事は24万円

もの経費を費やしました。水路延長

2万600尺(6242.4m)、

鉄管1500尺(454.5m)、

スイス製700馬力「インパルス・

タービン」2台、600kVA発電

機2台および備品を備え、電柱29

0本を用いて、戸地から相川までの

2里33町(約9.15km)あまりの距

離を電線でつなぎ送電を行いました。

この完成によって、今まで使われた

火力発電所を9月に休止、ポンプ巻

揚げなどを電力で賄いましたが、な

お余裕があつたため、暖水・暖室器

を作り、薪炭の節約を試みました。

10月3日に行われた落成式には20

0人が招待されましたが、島内諸村

からの見物人は1000人余りと報

道されました。

残念ながら、現在は建物もすべて

解体され、機械類も撤去されていま

す。しかし樹木や草木に覆われた中

に、当時の建物の概要を知ることの

できる鉄筋コンクリート製の基礎が

残されています。また、建物に関し

ては、古写真が残されており、当時

をうかがうことができます。それに

よれば、建物は入母屋造とし、北面

に出入り口を設けた妻入形式で、西

面には下屋を接続させています。内

部は**腰板張り**の腰壁を設けています。

出入口、窓は内法上にアーチの小窓

を設けた形状とし、棧の状況から上

げ下げ窓であつたと推測できます。

なお、それを裏付けるものとして現

地調査では、上げ下げ窓の分銅、滑

車が廃棄されていたのを確認するこ

とができます。基礎実測寸法によ

れば、規模は**梁間6間、桁行8間半**

として、西面下屋は幅3間で1間半

を張り出しています。建物同様、機

械類も撤去され現存していませんが、

南東部には水力発電機の機械基礎が

残存しており、文献と同じ2機分が

確認できます。

戸地第一発電所は、鉱山付近だけ

では十分に得ることのできなかつた

模工事の末に遠距離に建築されまし
た。水量を確保するために大きな木
で作られた水路が、発電所上方から
尾根づたいに上流に向かって長く延
びています。尾根の少し低くなった
場所から水路は二つに分かれて、本
流と支流に取水しています。合流地
には、水路の補修のための作業小屋
が建つていた場所も確認できます。
建物や機械類が既に解体・撤去され
たことは悔やまれますが、鉱山付近
だけでは電氣量が不足するほど急速
な発達を遂げた歴史を現在に伝える
貴重な施設と考えられます。県道か
らは細い山道になり舗装もしてない
道路ですが、軽自動車や軽トラック
なら現地まで行くことができます。
一度は足を運んでみたい遺跡です。
佐渡金銀山室 ☎ 27 4170
4月から事務所が両津に移りました。



現在の戸地第一発電所跡



生涯学習だより

伝統芸能「鷺流狂言」 講座生募集

能の盛んな佐渡に脈々とその芸能を伝える鷺流狂言。今日、佐渡には鷺流宗家の芸が、また山口市には分家伝右衛門派の芸が残っています。



この鷺流狂言を保存するため、昭和56年4月「鷺流狂言研究会」を組織し、伝承活動を行っています。皆さんも、公民館講座を通して、この伝統芸能を基礎から学習してみませんか。

練習日 毎週月曜 午後7時～10時
会場 真野ふるさと会館
対象 市民（中学生以上）
テキスト代 1000円
問い合わせ先 真野地区公民館
☎55 2179

初めての おけさぶし全国大会

「おけさぶし」の初めての全国大会が3月12日(日)、あいかわ開発総合センターで開催されました。「おけさぶし」は平成16年度に新潟市と佐渡市と聖籠町とが協同で制作した新しいおけさの曲。この「おけさぶし」の周知普及と地域の文化的な活性化を願って開催された「おけさぶし全国大会」は、参加が4チームに飛び入り参加が1チームと、小規模なものでしたが、参加者は嗜好をこらした衣装をまとい、元氣いっぱい踊りました。



優勝は「よさこい翔舞・黄（しようぶ・こがね）」で、参加チームの中でも特に表情が明るく、踊りも綺麗にそろっていて、みごと栄冠を勝ち取りました。見ていたお客さんからは「こない踊りがあるとは知らなかった。」

今度は自分も踊ってみたい」「同じ振り付けなのにいろいろな表現があつて楽しい」などの声があがり、盛況のうちに終わりました。（写真は準優勝「四魂」。）

なお、平成18年度もおけさぶし普及委員会では、講師を無料で派遣いたします。皆さんもぜひ踊ってみませんか。

問い合わせ先

おけさぶし普及委員会 連絡窓口
教育委員会相川事務所
☎74 2332

第27回赤泊地区 芸能発表会

3月12日(日)、赤泊総合文化会館を会場に「第27回赤泊地区芸能発表会」が開催されました。この芸能発表会は、地区内で活動している様々な団体の皆さんが日ごろの学習成果を発表する機会として毎年この時期に開催されているもので、今年も18団体の皆さんが舞踊や大正琴、バンド演奏など32の演目をご披露くださいました。

特に公民館講座として活動してきた小学生による和太鼓「どんどこサークル」の発表や、残念ながら18年度で閉校となつてしまいましたが、新潟県代表として全国高等学校文化祭の郷土芸能部門に13年



連続出場を決めている赤泊分校郷土芸能クラブの発表には、一段と大きな拍手が贈られていました。

第27回赤泊流 むらづくり会議

3月21日(火)午後7時から赤泊総合文化会館を会場に「第20回赤泊流むらづくり会議」が開催されました。

これは生涯学習の一環として、これまで地域住民によるパネルディスカッションや事例発表等を通じ、毎年様々な生活課題について一緒に考える機会として開催されてきたもので、今回は「運動」と「食事」をキーワードに「健康」について学ぶため、かつて全日本女子バレーボールチームの中心選手として、ソウルオリンピックやワールドカップに出場経験を持ち、現在では分子整合医学をベースに栄養療法で病気の改善や健康維持をお手伝いする「ヘルスコordinator」として活躍中の杉山明美さんを講師にお迎えしての講演会を開催し



ました。

杉山さんは、自身が現役時代に貧血に苦しんだ経験を基に、標準的な血液検査だけでは見つからない貧血についてや、低血糖症における症例や食生活の重要性について講演され「発病する前に必ず体が出すサインを見逃さないように！また、子どもたちの清涼飲料水等の過剰な摂取には親として特に注意を！」と健康管理に警鐘を促され、講演会に訪れた方々は熱心にメモを取っていました。

スポーツの結果

- 第22回両津地区バドミントン大会
3月5日(日)両津総合体育館ほか
A級①チームゆっこM②片野
尾A③青空会③ルート3・A
B級①さおちゃん②ルート3
B③河崎③歌見スマイル
第34回両津勤労者
バスケットボール大会リーグ戦
2月5日～3月12日 両津総合
体育館ほか
- 【男子の部】 一部①両青会②む
さし 二部①ヴァンガードX
POD 三部①河崎②住吉
うしお会
- 【女子の部】 ①Musashi②
チームZ

2006佐渡国際トライアスロン大会 第5回佐渡ちびっこ・ジュニアトライアスロン大会

選手募集開始! 大会を支えてくださるボランティアも随時募集!!

みなさまの心温まるご支援・ご協力をお待ちしております。



開催日 ・9月3日(日) 6:00~21:30

【2006佐渡国際トライアスロン大会 / 第10回日本ロングディスタンストライアスロン選手権佐渡大会】

・9月2日(土) 10:40~12:00

【第5回佐渡ちびっこ・ジュニアトライアスロン大会】

競技内容

カテゴリー	スイム	バイク	ラン	トータル
佐渡国際A	3.8 [※] km	190.0 [※] km	42.2 [※] km	236.0 [※] km
佐渡国際B	2.0 [※] km	105.0 [※] km	20.0 [※] km	127.0 [※] km
佐渡国際R(リレータイプ)				
ちびっこ(小学1年~3年生)	25m	1,500m	600m	2,125m
キッズ(小学4年~6年生)	50m	3,000m	1,200m	4,250m
ジュニア(中学生)	200m	4,500m	1,800m	6,500m

佐渡国際Rタイプ(リレータイプ)は一人一種目の3人1チームで行う。

募集人員 佐渡国際A 740人 佐渡国際B 700人 佐渡国際R 210人(70チーム)
日本選手権 50人
ちびっこ キッズ ジュニア 150人

選手申込期限 6月30日(金)【必着】

問い合わせ先 佐渡国際トライアスロン大会事務局(アミューズメント佐渡2階)

☎ 52-3800 FAX 52-2335 ☎ 0120-302142

ホームページ <http://www.sado.gr.jp>

mail to: trisado@sado.gr.jp

